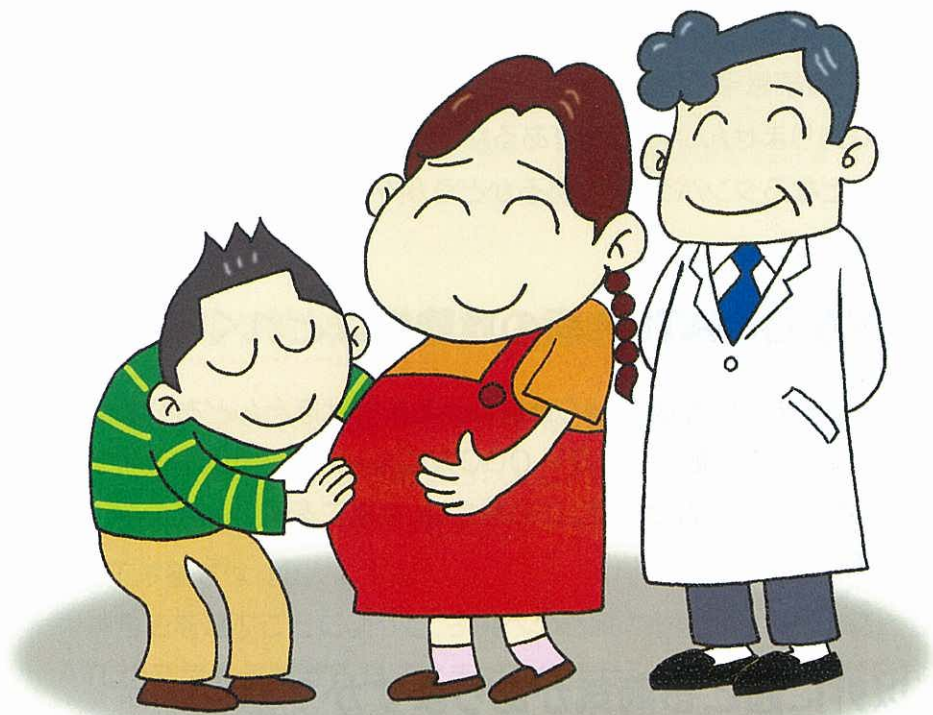


# 妊娠中のお母さん

## 知っていますか

### 成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)の ウイルス検査について



- 成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)とは、ウイルスによっておこる血液のガンの一種です。
- お母さんがこのウイルスを持っていると、授乳などによって赤ちゃんにうつるおそれがあります。
- 栄養方法を選ぶことで、赤ちゃんにうつす危険性を減らすことができます。
- お母さんがウイルスを持っているかどうかは、血液検査でわかります。
- 妊娠後期に、各医療施設(産婦人科)で検査を受けることができます。
- くわしいことは、産婦人科の先生にご相談ください。

## Q1

### 成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)とはどんな病気ですか？

ATLは白血病の1種で、主として40歳以上の成人に見られます。

ATLの原因は、HTLV-Iとよばれるウイルスで、このウイルスを持った人(HTLV-Iキャリア)だけがかかります。

## Q2

### 毎年何人くらいの方がATLになりますか？

毎年、全国で約1,000人、長崎県では約100人程度の患者の発生が報告されています。長崎県は全国的にも発生頻度の高い県です。

## Q3

### HTLV-Iキャリアとはどんな人をいうのですか？

HTLV-Iを持っていて、ATLやHAM(※Q5参照)などの病気を発病していない人をHTLV-Iのキャリアと呼びます。HTLV-Iに感染すると、ウイルスは一生体の中にとどまり、持続感染状態となります。しかし、ウイルスを持っている人がみんな発病するわけではありません。キャリアであるかどうかは、血液中の抗体(ウイルスが体の中に入った証拠となるタンパク質)があるかどうかを検査するとわかります。

## Q4

### キャリアからのATL発病の危険性はどれくらいですか？

キャリアからのATL発病は、40歳を越えるまではほとんどありません。

40歳を過ぎると年間キャリア1,000人に1人の割合で発病します。これは、子供の頃に感染した人がほとんどです。この割合は、たばこを吸う人が肺癌になる危険性とほぼ同じです。

## Q5

### ATL以外に起こる病気がありますか？

HAMという手足の麻痺を徐々に起こす病気が知られています。1年間でキャリア3万人に1人(ATLの30分の1)の割合で発症するといわれています。

## Q6

### 長崎県内のキャリアは、何人くらいいますか？

県内のキャリアは、約6~8万人といわれています。昭和62年から平成18年までの妊婦スクリーニングでは、約21万人が検査を受け、約7,000人のキャリアが見つかっています。

## Q7

### ウイルスは、どのようにしてうつるのですか？

人から人へは、次の3つの経路でうつります。

#### 1)母子感染

キャリアである母親からその子供へ。(主に母乳を介して)

\*キャリアでない母親からはうつりません。

#### 2)男女間(夫婦間)感染

主に男性のキャリアから女性へ。

#### 3)輸血感染

キャリアの血液の輸血を受けた場合。

昭和61年(1986年)より献血者の血液検査が始まり、輸血による感染はなくなりました。



## Q8

### 母子感染は、どのようにしておこりますか？

大部分は、キャリアである母親が母乳を飲ませることによっておこります。キャリアの母乳中には、HTLV-Iを持ったリンパ球が出てきます。これを子供が飲むことでうつっていきます。

## Q9

### 母子感染を予防するには、どうすればよいですか？

母子感染の危険性は、母乳を飲ませる期間によって変わります。

- 6ヶ月以上母乳を飲ませた場合5人に1人
- 6ヶ月未満では15人に1人
- 人工栄養では40人に1人

栄養方法を選ぶことによって、子供への感染の危険性を下げることができます。

ATLの発症を予防する方法はまだありませんが、キャリアにならなければATLはおこりません。栄養方法を選択することで、「親の意志」により感染の危険性を減らすことができます。母子感染を予防できるワクチンは、残念ながら今のところありません。

## Q10

### このウイルスは、日常生活において感染することはないのですか？

頬すり、だっこ、食器の共用、キスなどでうつる心配はありません。

兄弟間、保育所、幼稚園、学校等で感染する心配は、全くありません。

夫がキャリアの場合、妻へ感染することはありますが、妻から夫への感染はめったにおこりません。妻が感染した場合のATL発症の危険性は極めて低いと考えられます。

## ATL母子感染防止事業の取り組みについて

長崎県では、HTLV-I キャリア妊婦からの母子感染を予防するため、キャリア妊婦を発見し、その妊婦から出生した児へのキャリア防止のための事業に取り組んでおります。

キャリアから生まれてきたお子さんを母乳で育てた場合、年平均約70人のお子さんが新たなキャリアになったと思われませんが、この事業の取り組みにより約10人に減らすことができました。

現在では、キャリアの母親の減少などで、あらたなキャリア児の発生は年間5人以下になっていると思われます。



※もしもあなたがキャリアと言われて不安になったときは、かかりつけの産婦人科、小児科、市町の保健師、または保健所までご相談下さい。



### 〈保健所一覧〉

保健所名	所在地	電話番号
西彼保健所	長崎市滑石1-9-5	095-856-0691
県央保健所	諫早市栄田町26-49	0957-26-3304
県南保健所	島原市新田町347-9	0957-62-3287
県北保健所	平戸市田平町里免1126-1	0950-57-3933
五島保健所	五島市福江町7-2	0959-72-3125
上五島保健所	南松浦郡新上五島町有川郷2254-17	0959-42-1121
壱岐保健所	壱岐市郷ノ浦町本村触620-5	0920-47-0260
対馬保健所	対馬市巖原町宮谷224	0920-52-0166

平成20年3月発行

### 長崎県ATLウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会

(事務局) 長崎県こども政策局 こども家庭課 母子保健班

〒850-8570 長崎市江戸町2番13号

TEL 095-895-2445

ホームページアドレス ( <http://www.pref.nagasaki.jp/child/> )

E-mail: s25200@pref.nagasaki.lg.jp